

地域の皆様と共に永く住み続けられる街づくりを進める
「ちどり福祉会」の最新情報



社会福祉法人
ちどり福祉会広報部

福岡市東区八田 1-4-15

TEL: 092-691-5089

<http://chidorifukushi.jp>

いきいき

新年号

2018年1月発行

題字 特養いきいき八田利用者様



謹賀新年

施設長 山本 明美

平成三十年、幸せなお正月でしょうか。
私にとっても今年度は区切りの年となります。
まだまだ共働きの理解が少なかつた時代から私たち医療や福祉の先輩たちは、家事や子育てに追われながら、継続か撤退かを選択してきました。私もほんとの結婚生活を家庭よりも仕事に没頭してきたような気がします。そうせざるを得ませんでした。もともとゆっくりしたいと思いながら、子供が泣けば一緒に泣きたいし、夫の援助にも期待し続けながら四十年頑張ってきました。

大変とは思いますが、今しかできない子育てや学習を精一杯やってください。必ず結果は残ります。こんなアドバイスしかできませんが、厳しい情勢のなか、自分を信じて前向きになやかに生き抜いてほしいと思います。



施設長
山本 明美

副部長
渡部 美紀

利用者様のひろば

神様のよう那人

特別養護老人ホーム いきいき八田 入所者様

夫が61才の時でした。夫はある日自宅で突然倒れ私は傍で「お父さん、お父さん。」と何度も呼びました。息子が救急車を呼び、幸い一命は取り留めましたが後遺症で右半身が麻痺し言葉がでなくなりました。でも私の言葉はちゃんと理解して大きく頷いてくれました。突然の事で混乱しましたが私はこう考えるようになりました。「神様が、お父さんはもうゆっくりしないさい」と言っているんだ。」

しばらくして夫はいきいき八田のショートステイを利用するようになり、翌年再度脳梗塞になり、そして特養いきいき八田1階へ入所しました。私は毎日、面会に行きました。よその人は笑うかもしれないけど夫は私にとって神様のような優しい人でした。

それから数年たって、今度は私が倒れました。自宅のトイレを出て、次に気が付いたのは病院のベッドの上でした。その時の後遺症でしょうか、私の右手は十分に力が入りません。でも幸い夫よりは軽い後遺症ですみました。私も車いす生活になり、夫が暮らすいきいき八田のデイサービスとショートステイを利用するようになりました。

デイサービスでは友人ができ、その方とお話するのがとても楽しかったです。ショートステイではだれにも気兼ねする事なく気楽に過ごせました。デイやショートの日には夫に面会が出来ました。

そして、平成29年1月に夫は亡くなり、半年後に私はかつて夫が生活していた特養いきいき八田の1階に入所しました。今はデイサービスやショートステイで友達になった方々と施設内で会うのが楽しみです。

施設の皆さんにこれだけよくしてくれて本当に感謝しています。お世辞じゃなくて、本当によくしてくれてありがとう。



八田特養1丁目ユニット



本人様の刺繍作品です

大相撲観戦 ～日本の伝統～



升席で観戦

日本相撲協会さんからのご招待により、九州場所5日目に利用者様2名、付添職員2名で観戦へ行きました。十両土俵入りから幕内・横綱土俵入りも観戦し利用者様は大興奮でした。日本相撲協会さん、ありがとうございました。



歴代最高横綱はやっぱり大鵬！



横綱土俵入り



大相撲観戦

防災訓練

～備えあれば憂いなし～

ちどり福祉会では年間2回防災訓練を実施しています。火災だけでなく地震や風水害の訓練をすること、昼間の想定と夜間の想定の方実施することにも必要です。いざという時に皆様の安全を守れるように繰り返し訓練することが大切だと思っています。

写真は箱崎拠点での防災訓練の様子です



消火訓練



避難訓練



防火扉の確認

知っていますか？ ～介護ウェーブとは～

私たち、ちどり福祉会は全日本民医連という医療・介護の全国団体に所属しています。全日本民医連では、介護保険制度の抜本的改善と介護職員の確保・処遇改善を求めて、「介護ウェーブ」という運動を行っています。全国の仲間が街頭で署名を集めたり、介護の実態を知らせる宣伝を行ったりしています。私たちも署名・宣伝行動を関係団体と一緒にしています。

署名・宣伝活動の案内
毎月 第4水曜日 お昼
博多駅前にて



お揃いのユニフォームが目印です



これまで多くの方にご署名頂きました



よりよい介護をめざし訴えています



ご家族様の参加ありがとうございます

ピースセミナー in 長崎 ～憲法と平和～



天を指した右手は「原爆の脅威」、水平に伸ばした左手は「平和」

全国高齢者福祉9条25条の会主催のピースセミナーに参加しました。原爆で被爆した方から当時の話や生々しい写真、映像がありました。また、原爆資料館見学、現在の情勢について記念講演があり、戦争の悲惨さや戦争からは悲劇しか生まないことを学びました。セミナーを通じて原爆の恐ろしさを痛感したのはもちろんですが現在の情勢が戦争加担に進んでいることに不安を感じます。戦争を起こさせないために憲法や平和を考え、情勢に関心を持つことがとても大切なことだと感じました。 井上幸一郎



見学、講話、グループワークと多彩なプログラムでした

介護の豆知識 転倒予防

高齢者の怪我の原因で一番多いのは転倒によるものと言われています。では、転倒しやすい時期、又は季節はいつでしょう。転倒しやすい時期は12月から2月の寒い時期、つまり冬となります。冬は運動量が少なくなることで、筋肉量が低下します。筋肉量が低下すると、関節や筋肉がこわばり、思うように体を動かす事が出来なくなります。これにより、転倒しやすい状況となってしまいます。転倒予防は「手すりを付ける」、「バリアフリー化する」といった費用や期間がかかるもの、「歩く、下半身を動かす」といった体を動かす事などが挙げられます。しかし、転倒しやすい時期や季節を知っておくことも自身で出来る転倒の予防策だと思います。また、急な起き上がりや立ち上がるのではなく、動き出す前に簡単なストレッチを行ってから動き出す事も良い方法です。

(特別養護老人ホーム いきいき箱崎 石橋正裕)

委員会紹介

介護を守るため

～ちどり福祉会平和・社保委員会～

介護を社会全体で支えていくことを目的に、介護保険制度がスタートしました。しかし、利用者・家族様の負担は年々重くなり、給付は削減され続けています。介護の人材確保も年々厳しくなり、現場も厳しい状況に置かれています。私たち介護職員は、介護を守るために社会保障について学び、現場で起こっていることを知らせ、制度の改善を求めています。平和・社保委員会では、毎月会議を開催し、学習をするとともに、介護を良くする署名などに取り組んでいます。玄関先に署名を置いていますので、ぜひご協力ください。